

# 2024年3月期 第3四半期決算説明資料

2024年2月14日

株式会社イー・ロジック  
東証スタンダード(9327)



# 目次

---

1. エグゼクティブサマリー
2. 2024年3月期 第3四半期 決算概要
3. 2024年3月期 業績予想
4. トピックス
5. 早期の業績改善に向けた取り組み
6. APPENDIX（参考資料）

# 1. エグゼクティブサマリー

---

# エグゼクティブサマリー

---

- 第3四半期の業績は概ね順調に推移
- FC統廃合による固定費の削減も順調に進捗。しかし、依然としてFC坪数が過多の状況は継続。更なる固定費削減策を実行中
- 自動倉庫システム「RENATUS」の埼玉草加FCへの設置工事がスタート
- 他社との業務提携を含めた様々な施策により、サービスの拡充と差別化が進行
- アビスジャパンの連結子会社化により、連結決算を開示

## 2. 2024年3月期 第3四半期 決算概要

---



# 2024年3月期 第3四半期 決算ハイライト

売上高

9,882 百万円  
前年同期比 +0.6% (注)

営業利益

△559 百万円  
前年同期比 △476万円 (注)

経常利益

△552 百万円  
前年同期比 △476百万円 (注)

親会社株主に帰属する  
四半期純利益

△503 百万円  
前年同期比 △385百万円 (注)

- ▶ 2024年3月期 第3四半期より、連結決算に移行
- ▶ 大型新規案件を獲得
  - カスタマーサクセス担当のアカウントマネージャー制度が機能
  - クライアント目線での高い提案力が、顧客満足の上昇と売上増加に繋がる
- ▶ 固定費削減のためFCの減坪を実行、更なる固定費削減案を検討中
- ▶ 業務改善と坪稼働率向上により、2023年12月度に過去最多の出荷件数を記録

(注)2024年3月期3Qより、株式会社アビスジャパンの子会社化に伴い、連結決算に移行。2023年3月期3Qは個別、2024年3月期3Qは連結。

# 連結損益計算書

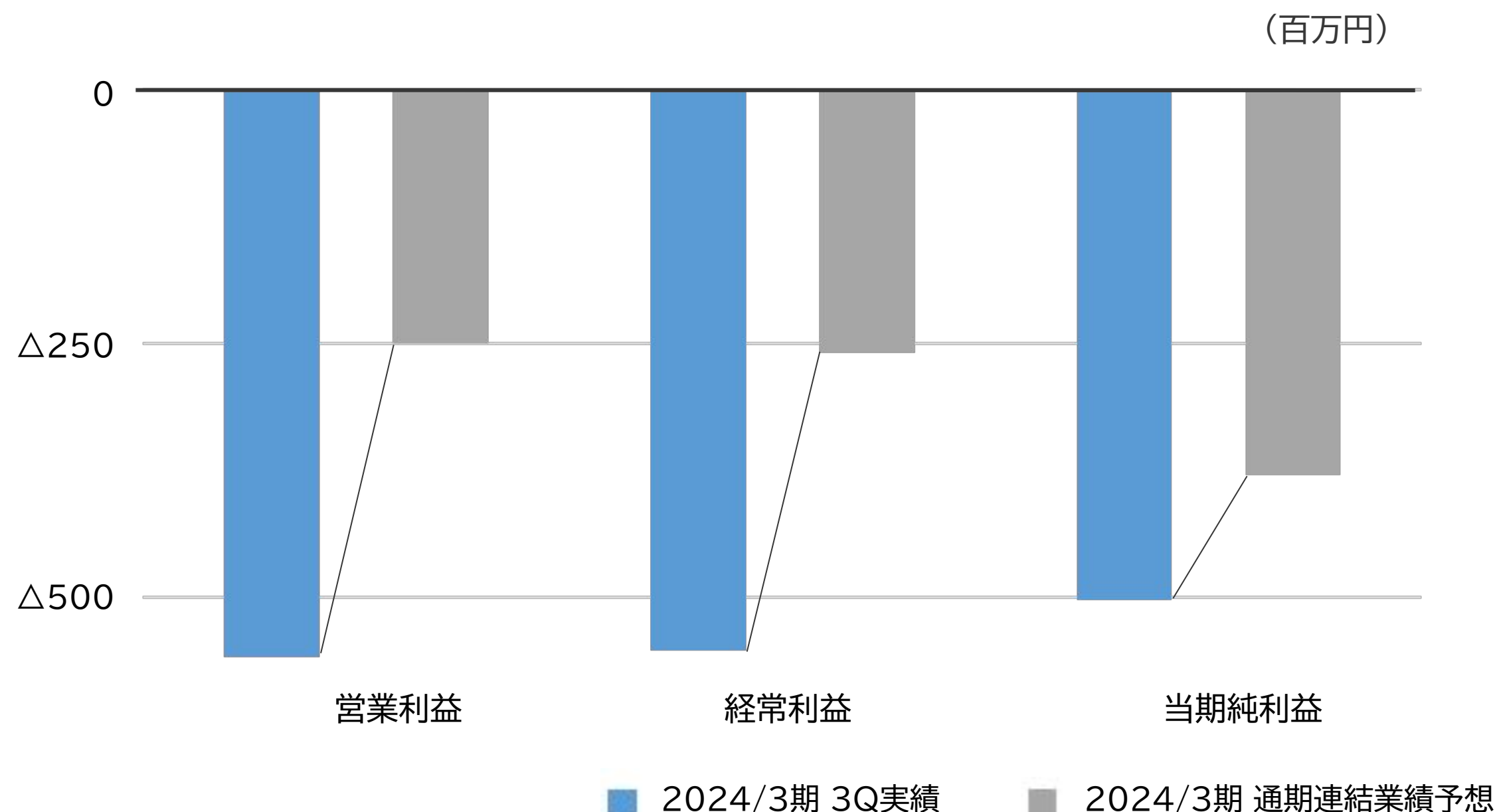
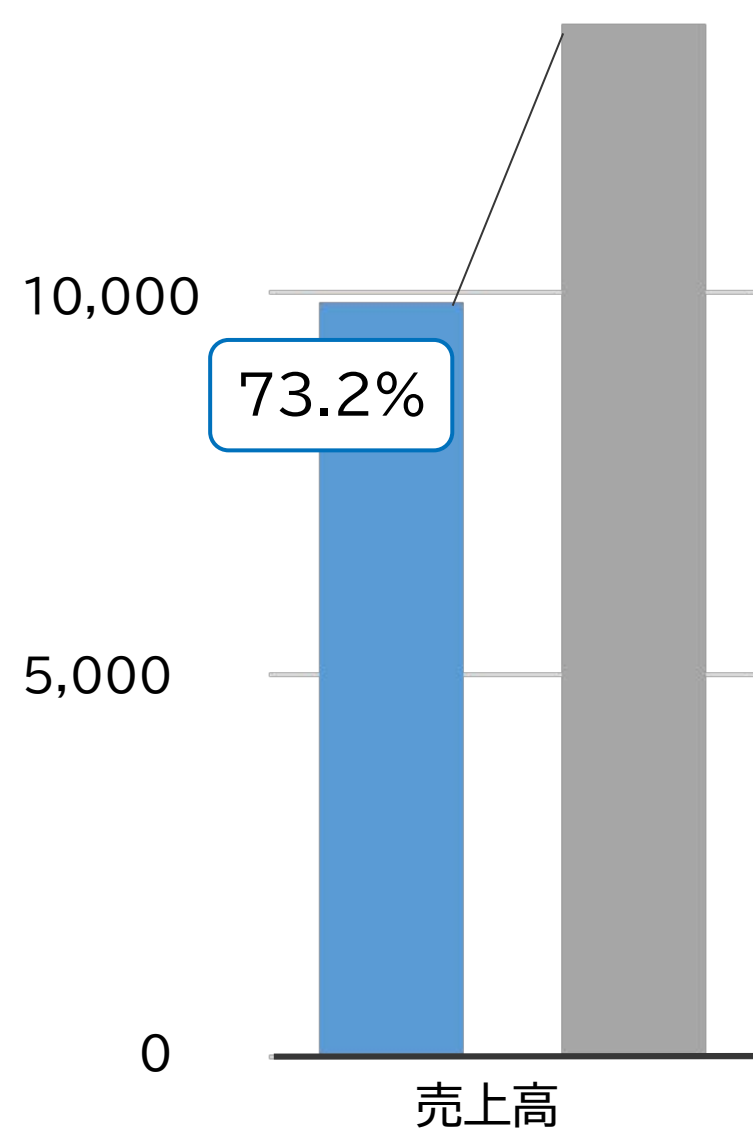
(百万円)

	(参考:個別) 2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	前期比	
			増減	増減率
売上高	9,818	9,882	63	+0.6%
売上原価	9,289	9,622	333	+3.6%
売上総利益	529	259	△269	△51.0%
販売費及び一般管理費	611	818	207	+33.9%
営業利益	△82	△559	△476	—
経常利益	△75	△552	△476	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△117	△503	△385	—

(注)2024年3月期3Qより、株式会社アビスジャパンの子会社化に伴い、連結決算に移行。2023年3月期3Qは個別、2024年3月期3Qは連結。

# 通期連結業績予想 進捗率

- ▶ 売上高は、新規案件のスタートが遅延するも、既存案件の出荷増により計画どおりに進捗
- ▶ FC自動化施策がまだ道半ばのため、繁忙期の出荷増加時に人件費・外注費が増加し、粗利率が悪化  
粗利率改善には自動化の加速が急務

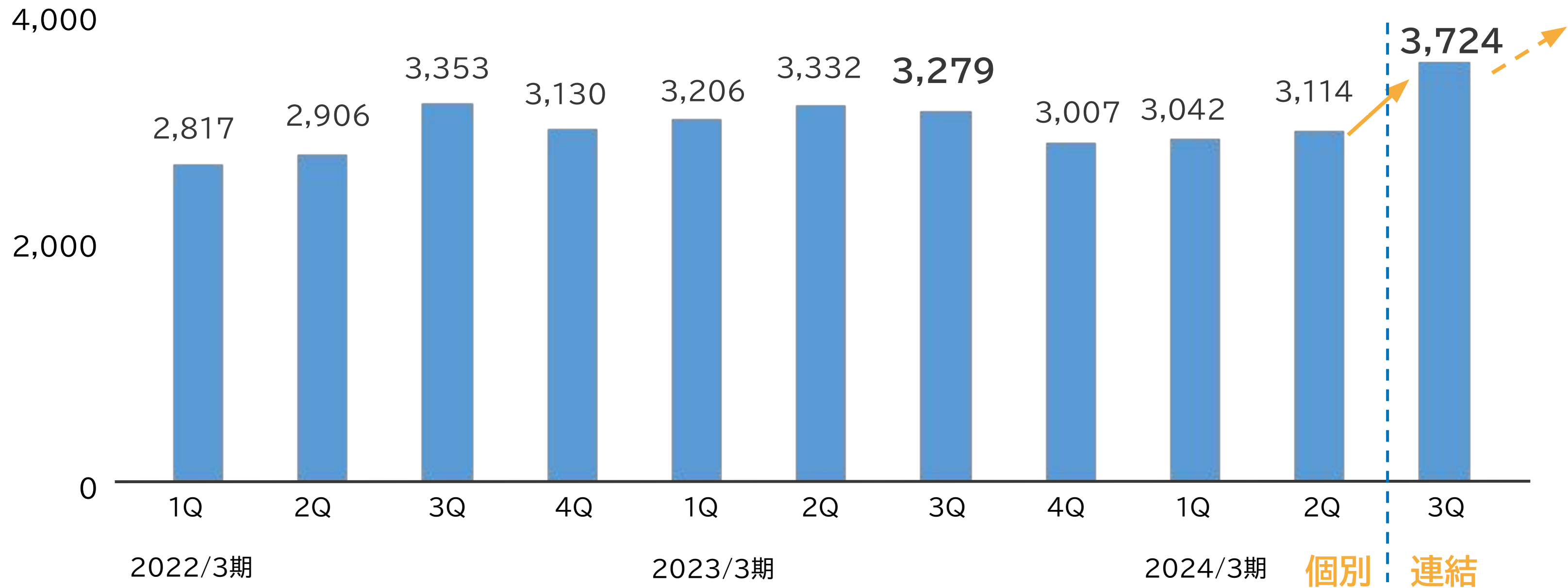




# 売上高 | 四半期推移

- ▶ 第3四半期(10-12月)は、単体売上高は前年どおり(前年同期比99.3%)となり、単体の計画比では順調に推移

(百万円)



(注)2024年3月期3Qより、株式会社アビスジャパンの子会社化に伴い、連結決算に移行。2024年3月期2Qまでは個別、2024年3月期3Qは連結。

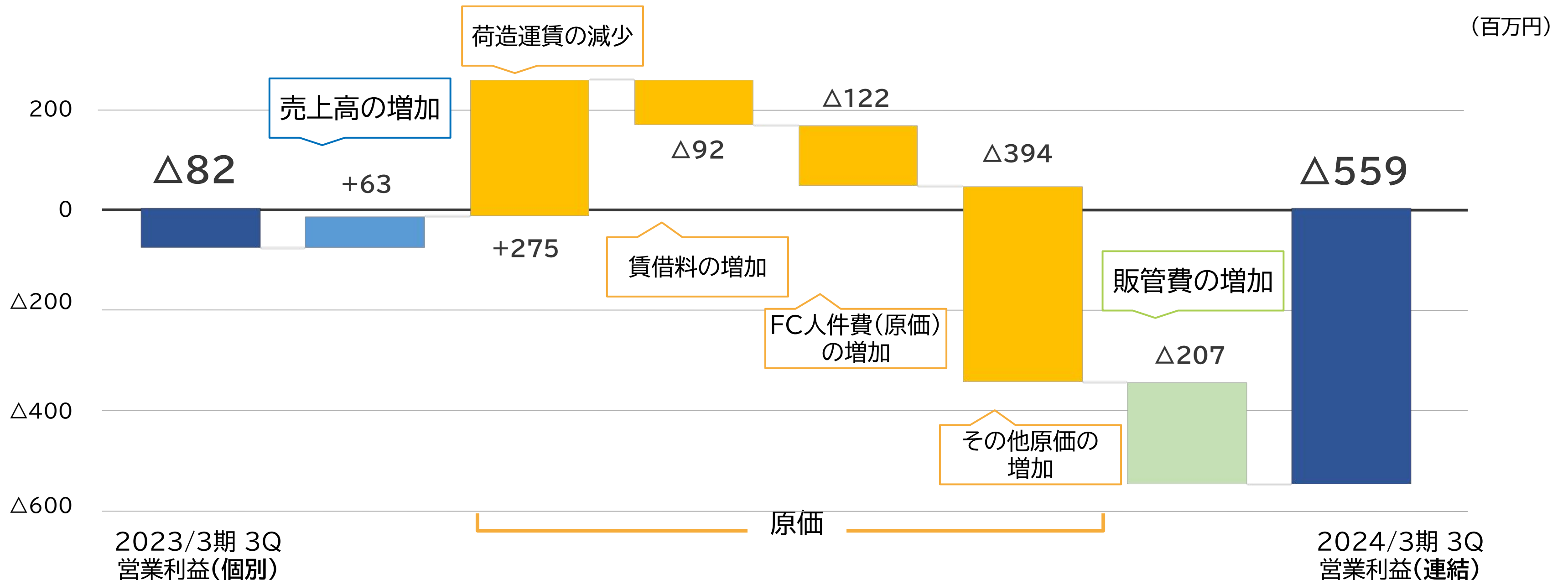
# 営業利益 | 増減分析

## 1. 原価

- a. イー・ロジット単体の売上高の減少にともない、荷造運賃(原価)が減少
- b. アビスジャパンの子会社化に伴い、その他原価が増加

## 2. 販売費及び一般管理費

- a. 体制強化に向けた積極的な人材採用により、採用費および人件費が増加



(注)2024年3月期3Qより、株式会社アビスジャパンの子会社化に伴い、連結決算に移行。2023年3月期3Qは個別、2024年3月期3Qは連結。

# 連結貸借対照表 | 資産の部

(百万円)

	(参考:個別) 2023年3月期	2024年3月期 第3四半期	前期末比 増減	主な増減要因
<b>流動資産</b>	<b>3,449</b>	<b>3,508</b>	<b>59</b>	
現金及び預金	2,100	772	△1,328	
その他	1,349	2,736	1,387	前払費用の増加
<b>固定資産</b>	<b>1,848</b>	<b>2,420</b>	<b>572</b>	
有形固定資産	276	403	126	
無形固定資産	77	336	259	のれんの増加
投資その他の資産	1,494	1,681	186	投資有価証券(RENATUS ROBOTICS社 137百万円)の増加
<b>資産計</b>	<b>5,297</b>	<b>5,929</b>	<b>631</b>	

(注)2024年3月期3Qより、株式会社アビスジャパンの子会社化に伴い、連結決算に移行。2023年3月期は個別、2024年3月期3Qは連結。

# 連結貸借対照表 | 負債・純資産の部

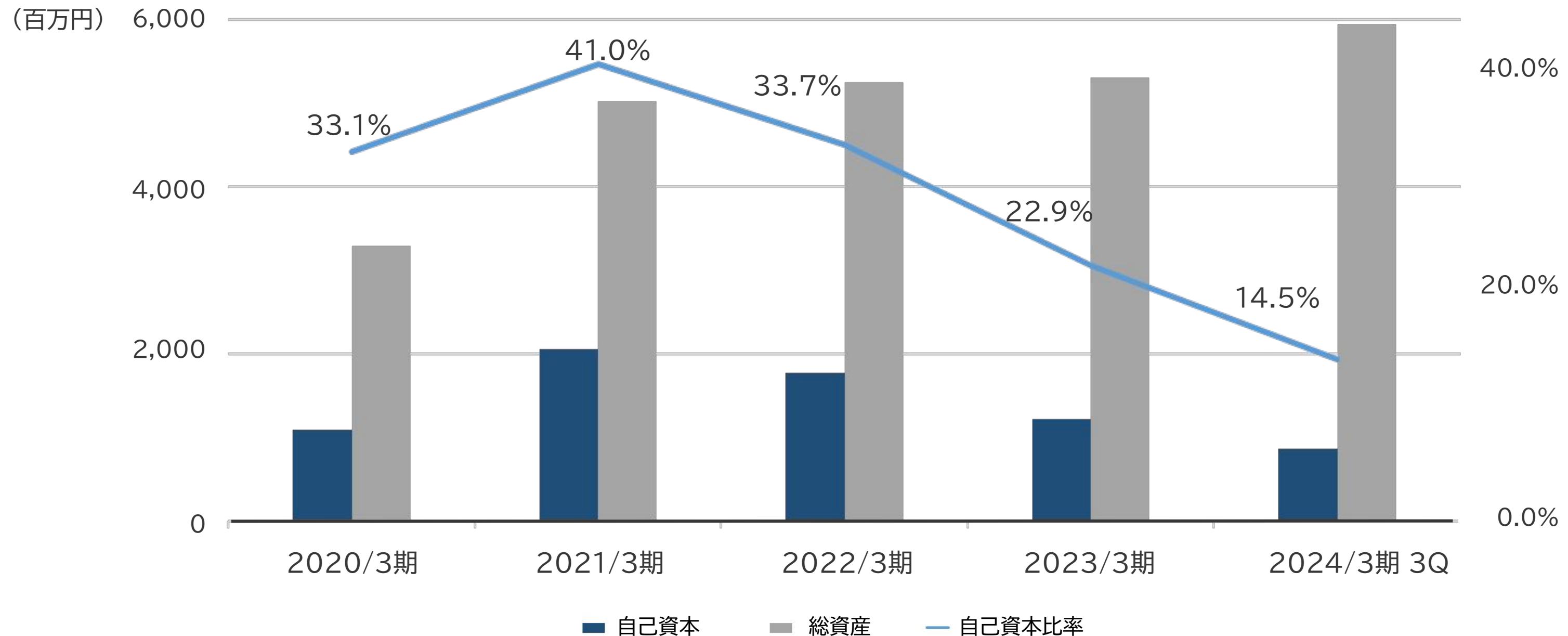
(百万円)

	(参考:個別) 2023年3月期	2024年3月期 第3四半期	前期末比 増減	主な増減要因
負債合計	4,079	5,056	977	
流動負債	2,841	3,669	828	買掛金、短期借入金の増加
固定負債	1,238	1,387	149	長期借入金の増加、資産除去債務の減少
純資産	1,218	872	△345	
株主資本	1,205	849	△356	利益剰余金の減少
その他の包括利益	6	8	2	
新株予約権	7	15	8	
負債・純資産計	5,297	5,929	631	

(注)2024年3月期3Qより、株式会社アビスジャパンの子会社化に伴い、連結決算に移行。2023年3月期は個別、2024年3月期3Qは連結。

# 自己資本比率

- ▶ 事業の成長および自動化・DX推進等への投資を継続し、早期の業績改善を図り、自己資本比率の向上を目指す
- ▶ 固定費の削減及び作業の生産性向上により、収益構造の抜本的な改善を図り、不採算体質からの早期脱却を図る



(注)2024年3月期3Qより、株式会社アビスジャパンの子会社化に伴い、連結決算に移行。2023年3月期までは単体、2024年3月期3Qは連結。

## 3. 2024年3月期 業績予想

---



# 2024年3月期 個別業績予想

▶ 2023年5月15日発表の業績予想から変更なし

(百万円)

	2023年3月期 実績	2024年3月期 計画	前期比	
			増減額	増減率
売上高	12,825	12,200	△625	△4.9%
営業利益	△288	△500	△211	—
経常利益	△281	△510	△228	—
当期純利益	△565	△550	+15	—
1株当たり当期純利益(円)	△161.81	△157.26	—	—

# 2024年3月期 連結業績予想

- ▶ 2024年3月期 第3四半期から連結決算に移行することに伴い、通期連結業績予想を公表
- ▶ アビスジャパンの子会社化に伴い、利益が改善する見込み

	2024年3月期 通期計画
売上高	13,500
営業利益	△250
経常利益	△260
親会社株主に帰属する当期純利益	△380
1株当たり当期純利益(円)	△108.36

(ご参考) 2023年11月14日付開示「連結決算開始に伴う連結業績予想の公表に関するお知らせ」

## 4. トピックス

---

# トピックス

---

- ロジスティクスオートメーション(FC自動化)の推進
- 他社との連携によるサービスの拡充
- アビスジャパン社事業の進捗
- その他トピックス

# ロジスティクスオートメーション(FC自動化)への取り組み

---

# FC自動化 | 自動倉庫システムRENATUSの導入

- 2023年5月: ロボティクスベンチャー RENATUS ROBOTICS Inc.(米国)と資本提携
- 2023年7月: RENATUS ROBOTICS株式会社(日本法人)と業務提携

[「2023 国際ロボット展(iREX2023)」にて、実機を展示]



(ご参考)

2023年5月15日付開示「RENATUS ROBOTICS Inc.との資本提携に関するお知らせ」

2023年7月31日付開示「RENATUS ROBOTICS株式会社との業務提携に関するお知らせ」



# FC自動化 | 自動倉庫システムRENATUSの導入

[ システム紹介PV ]





# FC自動化 | 自動倉庫システムRENATUSの導入

- 2023年12月末より第一号機の工事を開始
- 2024年4月中の正式稼働を目指し、プロジェクトが進行中

[ 当社 埼玉草加FCへの施工状況 ]





# FC自動化 | 他マテハン機器・設備への投資

- ▶ 生産性・サービス品質向上のために、「RENATUS」以外の自動化設備の導入を進めていく
  - 自動化・省人化による大量出荷時の人件費抑制
  - 生産性および設備稼働率の向上
  - 3辺計測による箱サイズ/配送コストの最適化
  - 機械化/監視カメラによる誤出荷率の低減



# FC自動化 | IPLUSMOBOT社との業務提携

- ▶ 自律走行搬送ロボット(Autonomous Mobile Robot、以下「AMR」)分野で、中国における先行企業である杭州迦智科技有限公司(IPLUSMOBOT社)と業務提携
  - 既存FCへのAMRの導入により、自動化・省人化・生産性向上を推進
  - 「RENATUS」が担うピッキング/検品/梱包工程の前後工程において、IPLUSMOBOT社のAMRを活用することで、FC内作業の自動化対象領域を拡大
  - 新しい事業軸として、IPLUSMOBOT社製品を外販



(ご参考) 2024年1月17日付開示 「杭州迦智科技有限公司との業務提携に関するお知らせ」

# 他社との連携によるサービスの拡充

---



# トランスコスモス株式会社との業務提携

- ▶ 「デジタルマーケティング」及び「コンタクトセンター」の領域に精通するトランスコスモス社と業務提携を開始(2023年11月15日)

両社の強みを掛け合わせることでEC領域におけるワンストップサービス体制を強化

## EC事業のバリューチェーン全体を網羅したワンストップ対応と戦略物流の融合による差別化

### 【 ECバリューチェーン上流 】

デジタルマーケティング  
施策による集客

ウェブサイトの構築・運営

人的リソースまたはRPAを  
活用したオーダーマネジメント  
サービス

上流システム(Shopify, OMS等)と  
当社WMSのAPI連携

### 【 ECバリューチェーン下流 】

フルフィルメントBPO

カスタマーサービスBPO

在庫回転率・EC物流コスト  
最適化への継続的な改善提案

戦略物流コンサルティング  
倉庫自動化 | FC外物流 | インハウスFC構築支援

アライアンスによる対応領域      当社の事業領域



# トランスコスモス株式会社との業務提携

## 本提携により見込まれる具体的なシナジー効果

### 新規・既存クライアントへの提案力

- 当社顧客へのデジタルマーケティング領域提案による既存顧客の出荷業務量の拡大(=当社売上の増加)
- トランスコスモス社の顧客へのFCサービス提案

### 両社FC拠点

- 繁忙期の波動対応時の協業
- 外部倉庫化による坪効率の向上
- FC人材の交流によるナレッジシェア

### EC上流システム

- トランスコスモス社が持つShopifyPlusのノウハウ  
※ShopifyPlus Partner of the Year 2022を獲得
- 当社顧客へのトランスコスモス社E-commerce Hub OMSの提供

### カスタマーサービス(CS)

- FC事業の付帯サービスである当社CS業務の一部をトランスコスモス社福岡天神センターに移管。ニアショア拠点の活用により、コストを抑制したまま、品質とスケーラビリティの向上を実現

# ウイルテック株式会社との連携

---

機器・ハードウェアの修理・メンテナンスに強みを持つウイルテック社と、  
当社が販売する自動化機器の保守業務に関する業務委託基本契約を締結



# 株式会社オープンロジとの連携

オープンロジ社の顧客対象に、当社のフルフィルメントサービスの提供を開始  
今後、オープンロジ社経由での業務量を拡大し、FC稼働率の向上に繋げていく

【顧客とシステムの提供】



【ファシリティ/設備/オペレーションの提供】



# アビスジャパン社 事業の進捗

---



# アビスジャパンの主力事業



- 2023年9月にM&Aにて、株式会社アビスジャパンの株式を100%取得し、子会社化
- ファシリティ事業（建設工事一式、オフィス・店舗内装工事）
- 太陽光事業・電力事業
  - 自家消費型システムをメインに、再生可能エネルギーをワンストップで企画・提案・施工
  - 2022年よりALSOKと提携し、太陽光パネルを設置
  - デジタルグリッド社の販売代理店

## 【施工例】





# アビスジャパン ファシリティ事業 受注案件

新規案件の受注は好調に推移

- 福祉施設、店舗、集合住宅等、複数の建設工事案件を受注済
- 主力の太陽光発電事業は法人向けの自家消費型発電設備を複数受注
- その他の内装工事・原状回復工事も多数受注

【主な受注済み案件】	受注合計金額
東京都新築マンション建設工事	約380百万円
兵庫県福祉施設建設工事	約220百万円
福岡県店舗建設工事	約150百万円
千葉県福祉施設建設工事	約180百万円
全国各地太陽光発電設備工事	約170百万円

# アビスジャパン 電力事業（デジタルグリッド代理店）

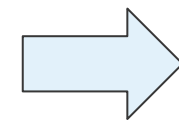


- デジタルグリッド社の仕組みを通して、サステナブルな再生可能エネルギーによる電力供給を顧客に提供し、昨今急騰する電気代のコスト削減を実現
- 長期安定収益の獲得に向けて、今後も積極的に事業を展開

## 【今後の展開】

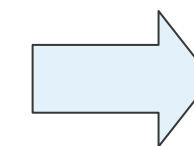
アビスジャパンの太陽光  
発電設備による発電

※太陽光設備販売



デジタルグリッド社に  
売電

※売電収入



電力消費者様に販売

※代理店収入

# アビスジャパンによる自動化設備の販売促進

「物流2024年問題」への継続可能な解決策の一つとして、自動化による省人化を推進

- アビスジャパンは、大型自動倉庫システムを顧客企業へ販売する際に必要となる許認可を保有
- 親会社であるイー・ロジットのFCを実オペレーションが見える「自動化ショールーム」として、ユーザー目線での自動化ソリューションの提案を実施
- アビスジャパンがファシリティ事業で培った建設技術、設計力、ノウハウ、資材調達力などを、自動化設備にも活用していく



RENATUS ROBOTICS

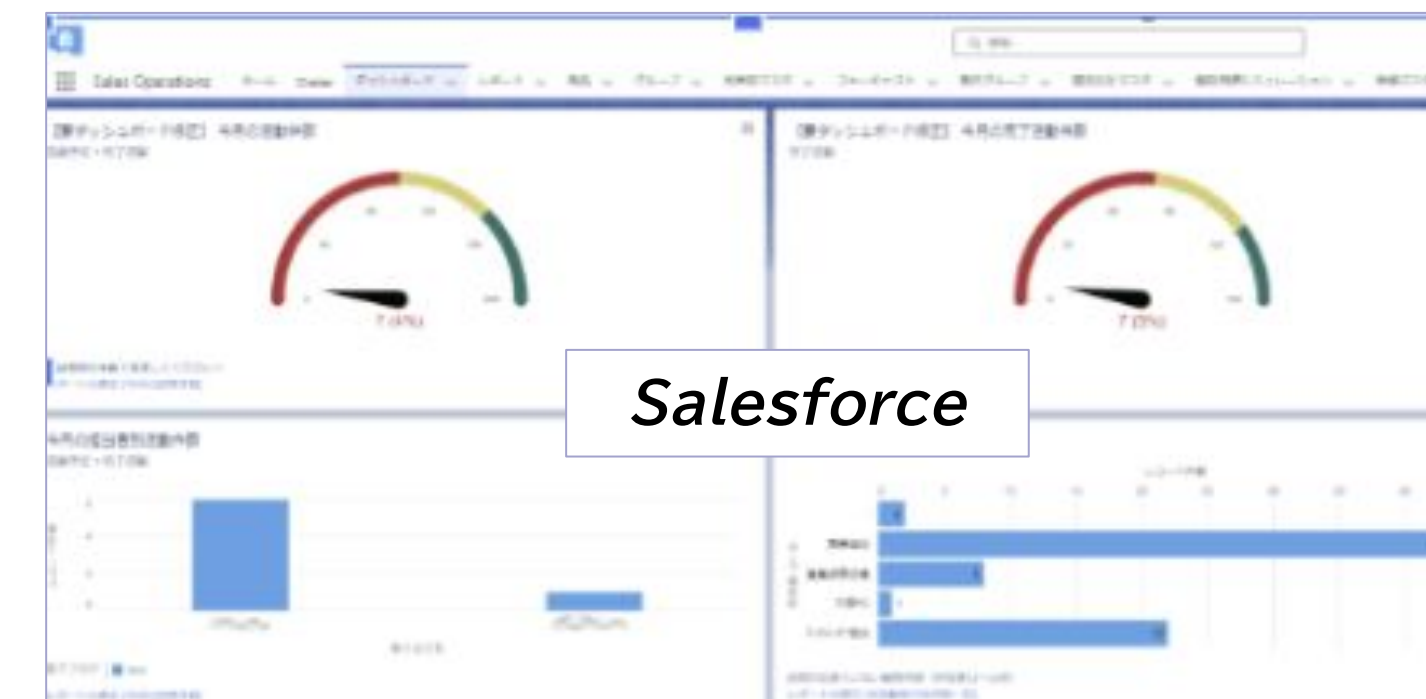
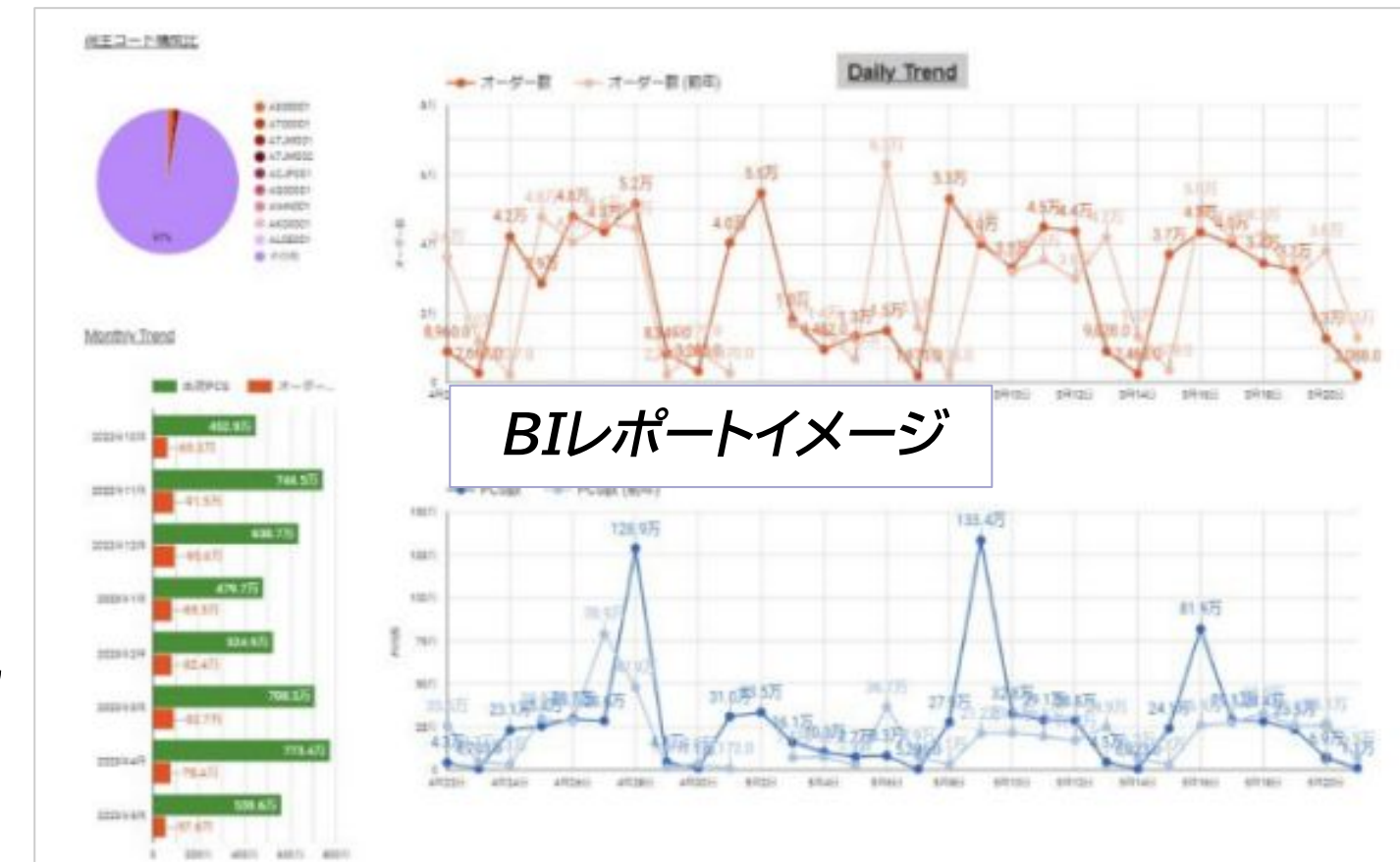


# その他トピックス

---

# デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

- **ビッグデータ使用のBIレポート活用**
  - データドリブンな働き方の推進
  - 顧客企業へのデータ分析プラットフォームの提供
  - 顧客企業の売上・利益の拡大(カスタマーサクセス)に焦点を置き、KPI分析を基にした様々な改善提案を実施
- **全社的システム基盤としてのSalesforceの導入**
  - 顧客とのコミュニケーション、営業活動、請求業務をシームレスに一元管理
  - 社内稟議システム(ワークフロー)等社内管理ソフトのSalesforce連携による業務工数の削減



# 品質の向上 - SOP推進によるオペレーション品質の平準化

Teachme Biz(クラウド型のマニュアル作成・共有システム)の総合的な運用により、効率化による生産性向上だけでなく付加価値向上まで実現



(ご参考) 2023年12月22日付プレスリリース <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000025.000076807.html>



# コンサルティング & SDGs

## ● コンサルティング業務

- ロジスティックコンサル案件受注は堅調
- イー・ロジットクラブのセミナー開催  
(ゲストスピーカー: 花王株式会社 / 株式会社ユナイテッドアローズ)
- 新規で人事コンサル・研修案件を受注



## ● SDGsへの取り組み

- 当社の標準梱包資材をレンゴー社のサステナブル素材 SEW(Smart Eco White)に切り替え
  - 表ライナ部分に環境に配慮した古紙100%でできた原紙を使用
  - 強度や色合いへのこだわりに加え、高いコストパフォーマンスを実現





## 5. 早期の業績改善に向けた取り組み

---

# 早期の業績改善に向けた今後の取り組み

---

## 【売上高・粗利益率の向上①】

- トランスコスモス社との業務提携の更なる深化
- 大型新規案件の受注および新規案件の大量出荷に耐えうるオペレーション体制確立
- サービス品質の向上およびスコープ拡大に伴う価格の改定
- 現在建設中の自動倉庫システム「RENATUS」1号機の正式稼働開始および作業自動化推進による坪あたりの出荷数/売上額の向上

# 早期の業績改善に向けた今後の取り組み

---

## 【売上高・粗利益率の向上②】

- 特定建設業を有するアビスジャパンとの協働で、自動倉庫システム「RENATUS」の提案販売を推進し、新たな収益軸を確保
- CO2排出削減事業の拡充として、アビスジャパンの太陽光発電設備の販売を強化し、グループの新たな収益獲得軸を確立
- アビスジャパンの「ファシリティ事業」の成長をより一層進めるため、既存顧客との関係性を一層強化し、「ファシリティ事業」の大型案件の受注を獲得

# 業績改善に向けた今後の取り組み

---

## 【固定費の大幅な削減】

既存FCの統廃合および転貸により、原価賃料の大幅な削減を実施していく

- 2024年秋までに約8,000坪の削減が内定済み
- 追加で最低10,000坪の削減を目指して、転貸・統廃合を進めていく

2025年3月末までに、原価賃料月額を現状より約7,000万円の削減を目指す



## 6. APPENDIX (参考資料)

---

# 会社概要

- 会社名 ▶ 株式会社イー・ロジット
- 設立 ▶ 2000年2月14日
- 代表者 ▶ 代表取締役社長CEO 谷辻 昌也
- 資本金 ▶ 599,419千円
- 本社所在地 ▶ 東京都千代田区外神田三丁目11番11号
- 証券取引所 ▶ 東京証券取引所 スタンダード市場(証券コード:9327)
- 事業内容 ▶ BPOサービス事業
  - ①通販物流アウトソーシング
  - ②物流コンサルティング
  - ③物流システム構築支援ファシリティ事業
  - ①建設業(建設工事一式・内装工事)
  - ②太陽光事業



(登録番号:JQA-IM1436)

(2023年12月31日現在)

# イー・ロジットの存在意義および提供価値

---

## パーパス(存在意義)

私たちは、常に顧客視点で変化を先取りし、  
社会インフラとして成長し続けるEコマースの進化に貢献します

## ブランドプロミス(提供価値)

クライアントのビジョンを深く理解し、エンドユーザーのニーズを誠実に考え抜き、  
サービス品質に 切妥協をせず、成長を支えるビジネスパートナーであり続けます

# 人的資本に関する情報開示

KPI	目標	2023年4月初時点	2023年12月末時点
正社員数	対象外	222名	256名
正社員女性比率	60%	39%	40%

研修受講者数	受講者 実人数目標	受講者 実人数実績	受講者 延べ人数	一人当たり 研修時間数
社内スキルアップ研修（希望制任意参加）	113名	91名	208名	2.3
トップリーダー（管理職育成）研修	13名	12名	13名	27.0



# 免責事項・お問い合わせ

---

## 【免責事項】

本資料に記載された内容は、本資料作成時点において、一般的に認識されている経済・社会等の情勢並びに当社が合理的と判断した情報に基づいて作成しておりますが、経営環境の変化等の事由により、本資料の記載と異なるリスクや不確実性がありますことを、あらかじめご承知おきください。

## 【IRに関するお問い合わせ先】

株式会社イー・ロジット

経営管理部 E-mail:[ir@e-logit.com](mailto:ir@e-logit.com)

IRサイト <https://www.e-logit.com/ir/>

※お電話でのお問合せにつきましては、お問合せに対するご回答内容に差異や語弊のない適切な対応を行うため、お断りさせていただいております。ご理解ご協力の程お願い申し上げます。